

議会報告会での要望・意見に関する事業等の進捗状況調査表

課等の名称 **教育総務課**

項目	大門地区 NO.1		市内避難所への非常用電源(蓄電池)の設置			
議会報告会での要望・意見	内容	・災害時には小中学校の体育館が避難所になっているが、組合議会の時の事務局からの説明では、太陽光発電設備を新たな事業で設置ということだが、非常時電源としての整備事業として、バッテリーもないようなものを設置するのか。その予算が教育(中学校費)の予算から出されているが、防災の観点から、消防費から出すべきではないか。				
担当部課での対応状況	企画課(地域づくり係)	地元からの要望	1	あり	時期	年度
			2	なし	調査項目にないため不明	
	担当課	1 把握していない	1	今後実施可能	実施時期	年度
			2	今後実施は困難	具体的な理由	別欄へご記入ください
		2 把握している	1	把握しているが未実施	具体的な理由	別欄へご記入ください
			2	実施計画策定	時期	年度
			3	予算措置	時期	年度
				予算額		千円
			4	事業完了	時期	年度
		事業に要した額			千円	
5	次年度以降取組み予定					
関係法令・内部規程等 (関連法令があればご記入ください。)	関係法令	地方自治法				
	内部規程	塩尻市辰野町中学校組合規約				
総合計画との関連 (総合計画との関連があればご記入ください。)	第 章					
	第 節					
	第 項					
	主な事業					
<b>実施困難な理由</b> (障害となるもの等を具体的に ご記入ください。)	学校への太陽光発電設備の設置については、従来より文部科学省の推進事業として、学校施設電力のエコ化推進、環境教育整備の一環として実施されてきており、その設置費についても同省所管による補助金が充当されます。 昨今の大規模災害の発生以降、学校が避難所に指定される場合の電力供給源として同設備を活せるよう対処してありますが、現状での学校の太陽光発電設備の基本的な位置づけは、環境教育の一環としての学校電力の供給設備整備であるため、教育費としているものです。					
その他 特記事項 (既に取組んでいる場合、どんな取組みをされているのか、また今後どのような取組みをされる予定があるかなどをご記入ください。)	避難所の非常時用電源としては、消防費により各地の防災備蓄倉庫に発電機(出力900W×2台)が既に配備されており、学校の太陽光発電設備はこれと併用して非常時用電力として利用できます。避難所運営に必要な電力の充実につきましては、今後も検討してまいります。					